



薄井工務店は地域に根付いた『地元密着の工務店』です。

～ 経営理念 ～

人と環境に優しい住まい
木づかいの家づくりを
地域と共に目指していく。

薄井工務店はハウスメーカーではなく、
地域で『家づくり』をする地元の工務店です。

昭和 21 年より、一貫して木造住宅に取組み、木と地域
環境に精通したプロフェッショナル集団です。77 年の歴史
では様々なことに取組んだ、経験と知識により、安心
できる『家づくり』の裏付けがあります。



気候風土からわかる『地域の住まい』

栃木県には栃木の気候風土があります。

家は自分では移動することが出来ません。建てたらずっと
その場所です。全国的に見ても、多雪地域など環境の厳
しいエリアは工務店のシェア率が高くなっています。全国
一律に均す素材工法では対応しきれないのでしょう。どこ
にでもある『コンビニエンスストア』も加工品はたくさん

ありますが、魚やお肉などの生鮮食品は少ないですよね？
でも地元のスーパーにはあります。栃木県にはその気候風土
で育った優良な素材がたくさんあります。優秀な企業、熟練し
た職人、地元で夢を持って働く人たちがたくさんいます。栃木に
『家をもつ皆さん』一緒に『家づくり』をしてみませんか。



since 1946
木づかいの家 薄井工務店
栃木県宇都宮市下砥上町 1190-3 ☎ 0120-913-340

薄井工務店
http://u-41.co.jp



工務店 と

ハウスメーカー

なにが違うの？



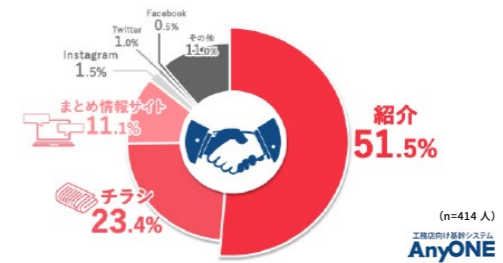
そもそも工務店とハウスメーカーっていったい何が違うの？

これ本当によく聞かれます。明確な定義があるわけ
はありませんが、イメージ的には全国規模の大手メー
カーと地元の工務店や大工さんと区別している人が多
いと思います。一人親方の大工さんから社員数万人の
大手まで、家づくりをしていることに変わりはありません。
家づくりのご計画するとき、まず最初に行動するの
が、ネットで検索し、気になるメーカーから資料を取寄
せ、次に展示場周りをして実際にモデルハウスを見て
話を聞いて検討する。という方が殆どだと思います。

次なる行動は『工務店探し』ですが、これがどう探
したらいいかわからない。ハウスメーカーは展示場
に行けばあるけど、工務店は探さないとわからない。

実は、展示場も立派なカタログもない工務店のそのほ
とんどが、建てた方による『紹介』なのです。

工務店に関する最初の情報をどこで得ましたか？



栃木県には約1900社の
建設業登録があります。

その殆どが一人親方の大工さんか数人で営んでいる工務店さんです。年間 10 棟以上
建築している地元の工務店はわずか3%。技術も歴史もありますが、情報が発信され
ず、皆様の目に触れないのです。ですが、どんなに大手のメーカーさんも、最終的に
は地元の企業、工務店、職人さんが現場に携わって『家づくり』をしています。実は『隠
れた名店』は地元にはたくさんあるのです。

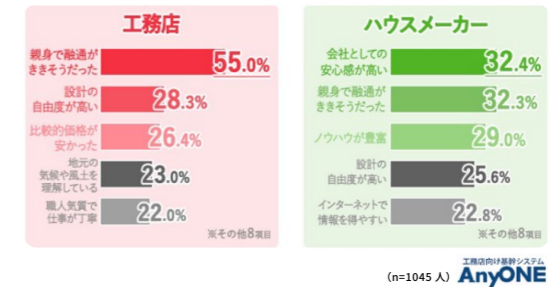
工務店とハウスメーカーそれぞれ選んだ理由は何？

それぞれの選んだ理由を確認すると、工務店は『設計
の自由度が高い』『比較的価格が安い』などが上位に
あります。ハウスメーカーは『会社としての安心感が高い』
『ノウハウが豊富』などが上位、さすが大手さんだと思
います。そして『親身で融通がききそう』というのはどち
らも上位。工務店では半数以上がその理由です。さすが
ここは工務店、自由度が高いのが売ります。

しかし実はこの『融通がききそう』というのがくせ者で、
何でも対応できる反面、仕様や保証があいまい、ともと
れてしまいます。しっかりと責任を持てる範囲で自由性

を発揮しなければなりません。何でも受け入れてしまい、
後で『失敗』では困りますからね。

それぞれを選んだ理由は？(複数回答可※上位5項目)



減少していく『大工』

世の中に大工は沢山いると思われるかもしれませんが、1980年に93万人いた大工
は、2015年には35万人、2020年には30万人、2030年には20万人にまで減少
すると言われています。これは工業化製品が進み、作ることが苦手な大工が増えてき
たこともひとつの要因に。そして『木』のことがわかる大工も減っています。いま職
人さんの技術を継承しないと、将来、リフォームをできる職人がいなくなってしまいま
す。



工務店とハウスメーカーの違い？

それぞれのメリット・デメリット

工務店やハウスメーカーの違いによるアンケート。メリットは良しとしても、やはり気になるのは『**デメリット**』工務店では『**施工の精度・設計提案力が各社それぞれ**』『**経営の安定度がわかりづらい**』とあります。工務店は数多くあるので、設計提案力がそれぞれなのは、わかりますが、施工精度のばらつき、経営の安定度がわからないのは困りますね。施工精度はその会社の基準をよく確認下さい。また安定度は会社の歴史や姿勢、将来の計画や社会的取組などをみれば参考になります。

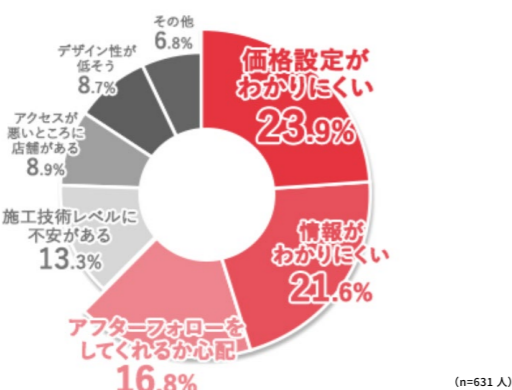
工務店とハウスメーカーの違い

依頼先	工務店	ハウスメーカー
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型 ・営業、設計、施工、メンテナンスまで ・設計を設計事務所に依頼する工務店もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国展開 ・設計はハウスメーカー、もしくは外注の設計事務所 ・施工は下請けの地元工務店
○ メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・建築費が安い ・設計の自由度が高い（フルオーダー） ・気候、風土に適した施工ができる ・身近で細やかなアフターサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・工期が短い（平均3,4ヶ月） ・大手ならではの安心感 ・新しい工法、技術を開発している ・アフターサービスが充実
△ デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・施工の精度が各社それぞれ ・設計、提案力が各社それぞれ ・経営の安定度がわかりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築費が高い ・設計の自由度が低い ・変形地や狭小地は非対応、割高

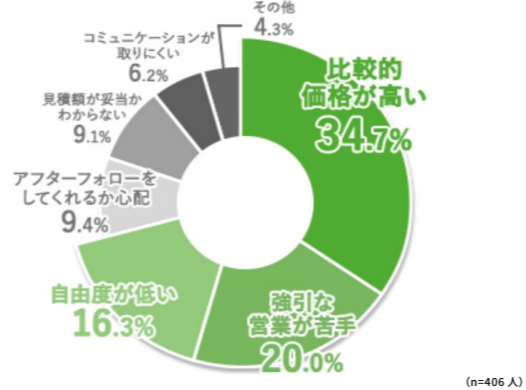
それぞれを選ばなかった理由は？

それぞれ選ばなかった理由として、工務店では『**価格設定がわかりづらい**』『**情報がわかりにくい**』『**アフターフォローをしてくれるか心配**』などがあげられます。ハウスメーカーでは『**価格が高い**』『**強引な営業が苦手**』『**自由度が低い**』などがあげられます。工務店もハウスメーカーもこれらの欠点は改善していかなくてはなりませんね。

工務店を選ばなかった理由は？



ハウスメーカーを選ばなかった理由は？



工務店向け基幹システム
AnyONE

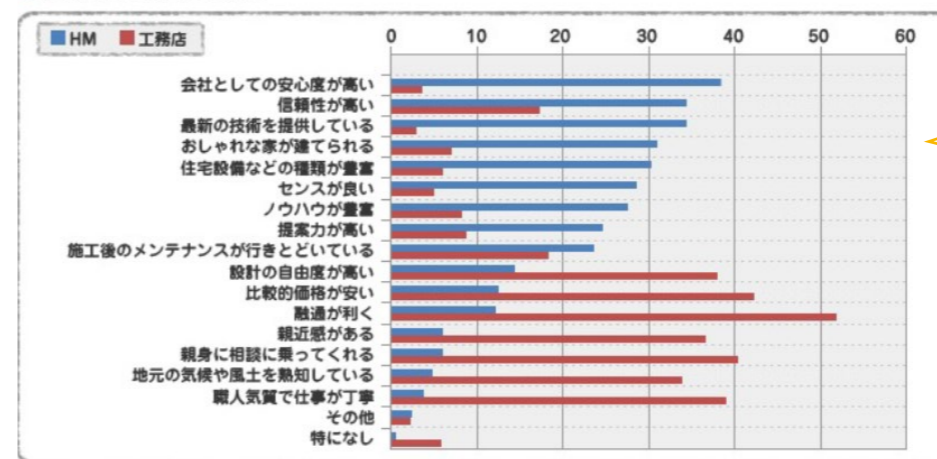
《調査概要：「一戸建て住宅建築会社の選び方」に関するアンケート》
 ・調査日：2019年6月6日（木）～2019年6月7日（金）・調査方法：インターネット調査・調査人数：1,079人
 ・調査対象：3年～5年以内に家を建てた方・モニター提供元：ゼネラルリサーチ

保証とメンテナンス

保証期間は各社それぞれ、長期保証は10年～50年長いところは100年とうたっているメーカーさんもあります。実際にはその根拠が必要でしょうか、保証が無くては心配なようでも逆に困りますね。建物がどれだけ持つかは歴史に答えがありますが、地震国、風害水害も多い日本、災害に強い家づくりは昔から考えられています。現在の『建築基準法』は1950年施行とまだ、最近の法律です。でも日本にはそれより古い木造建築はたくさんありますね。

工務店とハウスメーカーそれぞれに感じる魅力は？

●事前に感じる魅力の相違



青いグラフは『ハウスメーカー』
赤いグラフは『工務店』

なんときれいに分かれてます。お互い補い合っていると聞こえはいいですが、こう見ると、相対してるのがよくわかります。足りない部分を改善すればいいのですが、難しいのでしょうか？



赤いグラフ『工務店』の魅力の低さ

- 会社としての安心度が低い
- おしゃれな家ができない
- 最新の技術がない
- /ウハウがない
- 信頼性が低い
- 住宅設備などの種類がない
- センスが悪い
- 提案力が低い

などなど工務店には落ち込みそうなご意見ですが…

ご心配はいりません。

数多くの工務店の中でも、これらをしっかりと補える工務店はたくさんあります。



安心できる『工務店の見つけ方』

- ある程度歴史があるか
- 取組やポリシーにぶれがないか
- 会社が明るい雰囲気か
- 言っていることの根拠をしっかりと示せるか

…などなど

自信をもって答えられる工務店には安心できる裏付けがあります！

企業の生存率

帝国データバンクの調査では、企業の生存率が左の図のようになっています。10年後に70%、22年後には50%になっています。この調査は比較的大きな企業が対象と思われ、中小零細を含めた国税庁の調査では10年後に6.3%20年後には0.4%となります。すべての産業が対象なので一概には評価できませんが、いかに歴史を持つことが難しいかが伺えます。

